

去勢・避妊手術における説明、同意書

目次

	去勢手術のメリット・デメリット	2
	避妊手術のメリット・デメリット	2
	手術を実施する時期とその理由	3
	手術内容	4
	手術の流れ	6
	術前検査	7
	費用について	8
	手術中の追加処置	9
	手術後の注意事項	10
	抜糸	11
	手術・麻酔の合併症	11
	緊急措置	11



去勢手術のメリット（良い点）

～男の子の手術～

- 中高齢以上での病気予防（主にワンちゃん）
 - 前立腺肥大
 - 会陰ヘルニア
 - 精巣疾患
 - 肛門周囲腺腫
 - 潜在精巣の腫瘍化 など
- 発情行動（マーキング・マウンティング）の抑制
 - *マーキングやマウンティング行動を必ずしも抑えるわけではないため、これらの行動が残る場合もあります。
- 攻撃行動が落ち着くことがある



去勢手術のデメリット（悪い点）

- 太りやすくなる
- 繁殖できなくなる
- 数ヶ月～数年後に数%の子で尿もれを起こす場合がある（ワンちゃん）
- 大腿骨頭の異常が生じることがある（ネコちゃん）



避妊手術のメリット（良い点）

～女の子の手術～

- 中高齢以上での病気予防
 - 卵巣および子宮の腫瘍
 - 乳腺腫瘍

*避妊手術実施時期による乳腺腫瘍の発生率の変化

- ワンちゃん：初回発情前0.05%、初回発情後8%、2回目の発情以降26%
- ネコちゃん：初回発情前9%、初回発情後14%、2回目の発情以降89%

- 子宮蓄膿症
 - 卵巣嚢腫 など
- 発情行動の抑制
- 望まない妊娠を防ぐ
- 避妊手術をしていない場合、ドックランが利用できないことがある



避妊手術のデメリット（悪い点）

- 太りやすくなる
- 繁殖できなくなる
- 数ヶ月～数年後に数%の子で尿もれを起こす場合がある（ワンちゃん）

手術実施時期とその理由

○ 実施時期の目安は生後6ヶ月齢時点

- 麻酔を比較的安全に実施できる体格になっている。
- 永久歯への生え変わりが完了している。（乳歯が残っている場合は抜歯をご検討ください。）
- 高齢の子よりも麻酔からの覚醒や回復が早い。
- 女の子の場合、初回発情前の手術により乳腺腫瘍の発生率を下げる可以降低ことができる。

* 例外として・・・

女の子のワンちゃんの場合、発情中（生理中）だと手術中の出血リスクが高くなるため約2ヶ月延期が必要になります。（女の子のネコちゃんの場合は、出血リスクは比較的低いため延期の必要はありません。）



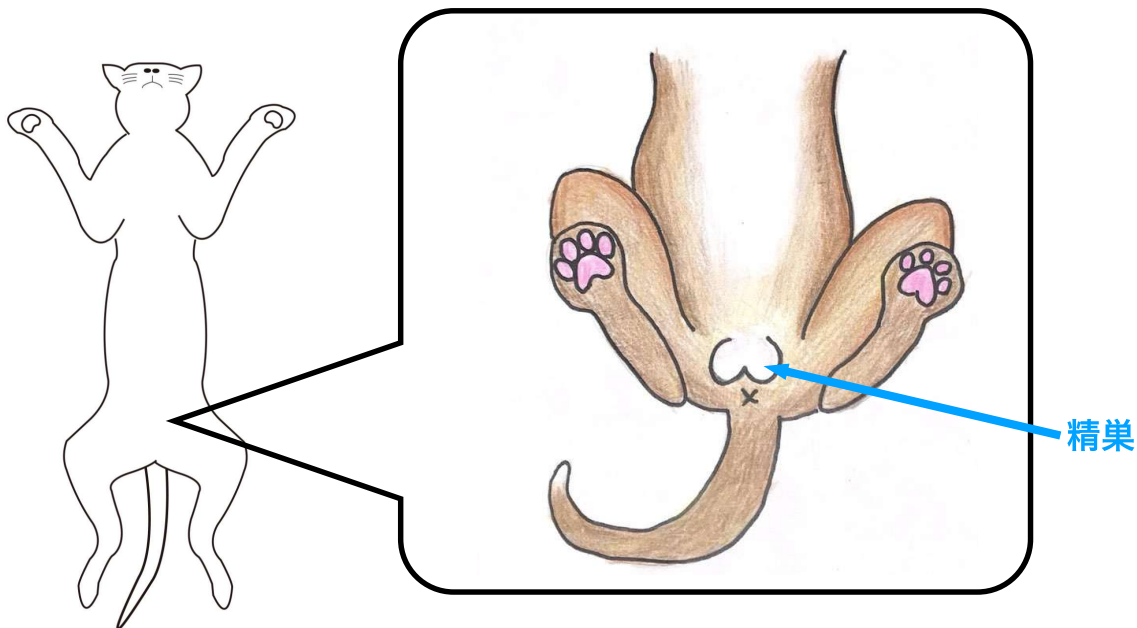
手術内容（どんな手術をするの？）

去勢手術 ～男の子の手術～

 ネコちゃん

陰嚢を切開して精巣を摘出します。

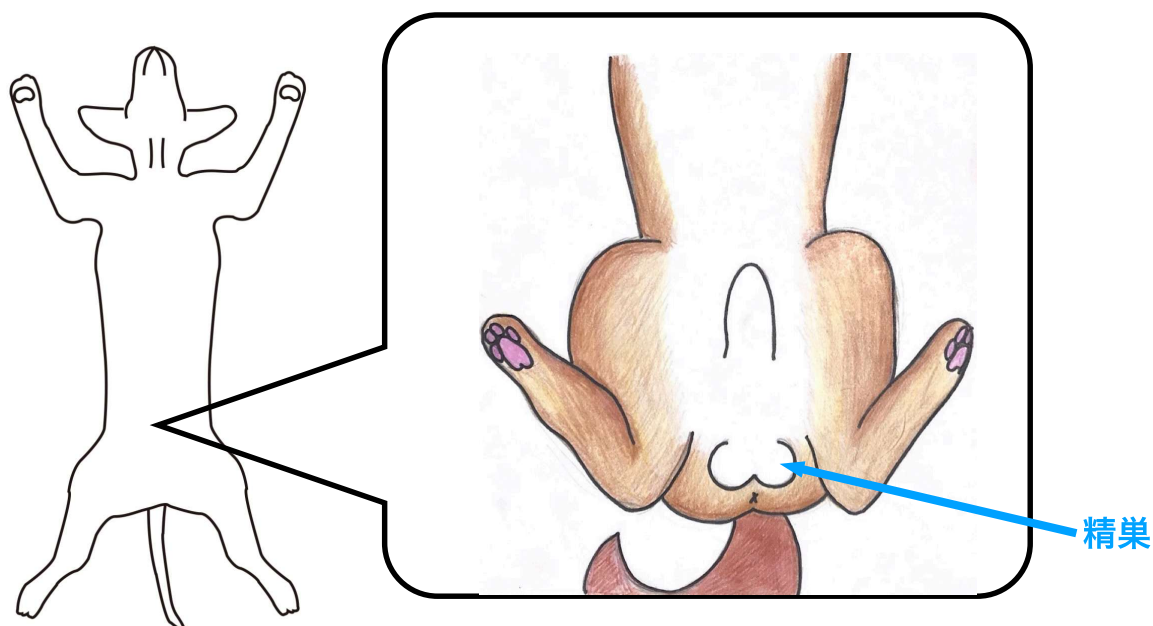
※ 潜在精巣（精巣が正常な位置にない）の場合、精巣の場所によって切開する部位が異なります。



 ワンちゃん

陰茎の下を切開し精巣を摘出します。

※ 潜在精巣（精巣が正常な位置にない）の場合、精巣の場所によって切開する部位が異なります。



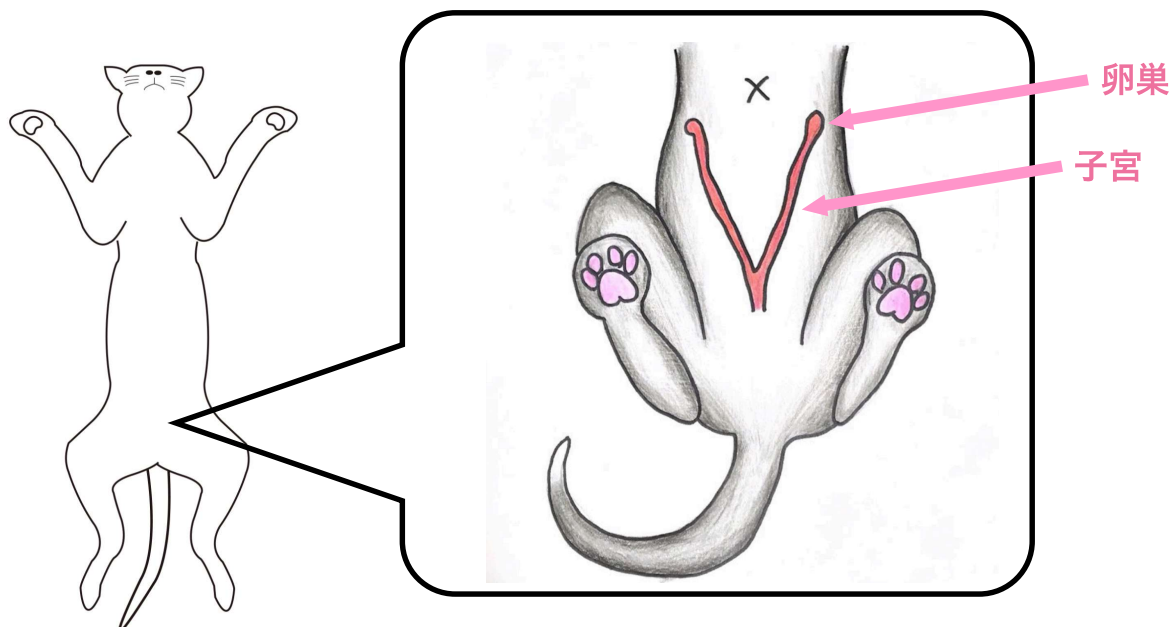
🍇 避妊手術 ～女の子の手術～

🐱 ネコちゃん

おへそ付近を切開し、卵巣と子宮または卵巣のみを摘出します。

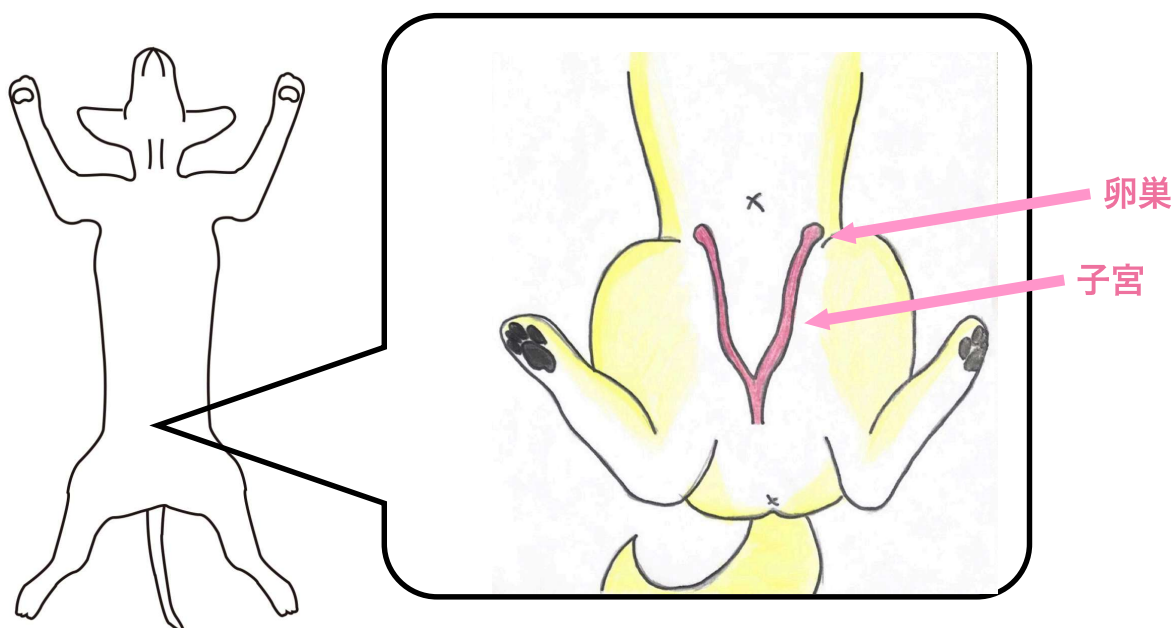
※ 妊娠していた場合、そのまま閉腹するか、または卵巣子宮摘出（中絶手術）を行います。
（手術費用も変更になります。）

※ 避妊手術済みであった場合はそのまま閉腹します。



🐶 ワンちゃん

おへそ付近を切開し、卵巣と子宮を摘出します。



注) 全ての手術で手術部位の毛刈りをします。

注) 臍ヘルニア、鼠径ヘルニアの整復手術を行う場合、切開部位が増えることがあります。

注) 手術中に病気が判明した場合、治療法や手術法、及びその費用に変更がある場合があります。



手術までの流れについて

手術日程を決める

- ・お電話でご予約いただくか、診察時にご相談ください。
※ 手術日はなるべく平日でお願いしております。
- ・ワクチンを接種していない場合は、手術の2週間以上前に接種をご検討ください。

手術前検査の日程を決める

- ・手術日が決まったら、手術日の2週間以内に検査にご来院ください。
- ・手術前検査日は土日、祝日でも可能です。

手術前検査

手術前検査日： ____ 月 ____ 日

- ・手術前検査には身体検査、血液検査、レントゲン検査、エコー検査などがあります。
※ 検査内容はご来院時に獣医師とご相談ください。（術前検査の詳細は7ページへ）
- ・ノミ、ダニの予防をされてない場合は必ず予防薬の投与をお願いいたします。

手術前日

- ・夜22時までにごはんは済ませてください。
※ 麻酔の影響で嘔吐する場合があります。吐物によって誤嚥性肺炎を引き起こす可能性があるため夜22時以降は絶食をお願いしております。
- ・お水は夜中は与えても大丈夫です。

手術当日

手術予定日： ____ 月 ____ 日

- ・朝からお水を与えないでください。
- ・朝ごはんは与えずに ____ 時 ____ 分～ ____ 時 ____ 分にご来院ください。
※ 朝ごはんやお水を与えてしまった場合は手術を延期することもあります。
- ・麻酔の覚め具合や術後の経過などを診るためにも夕方までお預かりとなります。
- ・ご面会、手術の立ち合いはお控えいただいております。

お迎え

- ・ ____ 時 ____ 分～ ____ 時 ____ 分にいらしてください。
※ 当日に退院を予定しておりますが、術後の麻酔からの覚め具合や経過によっては数日の入院になる場合もあります。その際入院費、治療費等は別途お支払いいただきます。

術前検査について

<血液検査>

○血球計算

- ・白血球数（WBC）
 - 感染、炎症の有無
- ・赤血球数（RBC）、ヘモグロビン（HGB）、ヘマトクリット（HCT）
 - 貧血の有無
- ・血小板数
 - 止血機能の指標

○生化学検査

- ・血糖値（GLU）
 - 来院のストレスなどで数値の上昇がみられることもあります
- ・腎数値（BUN・CRE）
 - 高値の場合は腎臓病などが疑われます。
 - タンパク質の過剰摂取や、脱水の程度によっては数値の上昇がみられることもあります。
 - 低値の場合は肝機能低下などが疑われます。
- ・アルブミン（ALB）
 - 低値の場合は、肝臓、腎臓、腸などに問題がある場合があります。
- ・肝数値（ALP・GPT）
 - 高値の場合は肝臓疾患や若齢の場合は血管奇形(門脈体循環シャント)などが疑われます。
 - 脂質の過剰摂取や、1歳未満の子は成長期の影響でも上昇することがあります。



○その他

- ・ネコちゃん
 - 猫免疫不全ウイルス（FIV）検査、猫白血病ウイルス（FeLV）検査
※譲渡あるいは保護された子にはお勧めします。
- ・ワンちゃん
 - フィラリア検査

<画像検査>

○レントゲン検査

- 胸部：肺や気管の状態、心臓の大きさなどを評価いたします。
- 腹部：肝臓や胃腸、腎臓などの腹部臓器などを評価いたします。



○超音波検査

- 心臓：弁膜症や心筋症、先天的な心臓奇形などの有無を評価いたします。
心雑音が聴取された場合は強くお勧めします。
- 腹部：肝臓や胃腸、腎臓などの腹部臓器を細かく評価いたします。





費用について

～ 手術前検査（税込）～

<診察>	1,760円
<血液検査>	
- 血球計算＋生化学検査（6項目）	8,580円
<胸部レントゲン（2方向）>	
- 小型犬（～8.5kg）、猫	5,940円
- 中型犬（8.6～18.8kg）	8,580円
- 大型犬（18.9kg～）	12,430円
<超音波検査>	
- 胸部＋腹部	10,450円
- 胸部または腹部	6,600円
<その他の検査>	
- 生化学検査1項目	880円～
- 血液塗抹	1,650円
- 犬フィラリア検査	2,750円
- 猫免疫不全ウイルス/猫白血病ウイルス検査	5,390円

～ 手術（税込）～

ネコちゃんの手術

- 去勢手術	13,860円
- 皮下陰睾	27,500円
- 腹腔内陰睾	55,000円
- 避妊手術	21,340円
- 卵巣子宮摘出	34,980円
- 中絶手術	43,780円
＊中絶手術時の胎児埋葬代	3,850円

ワンちゃんの手術

- 去勢手術	21,340円
- 皮下陰睾	41,140円
- 腹腔内陰睾	68,640円
- 避妊手術	37,400円



※ 体重加算料金があります。（体重10kg以上は5kg毎に4,510円追加となります。）

※ 犬種や年齢によって麻酔薬が変更になる場合、費用の変更がございます。

※ エリザベスカラーやエリザベスウェアが必要な方は別途料金がかかります。

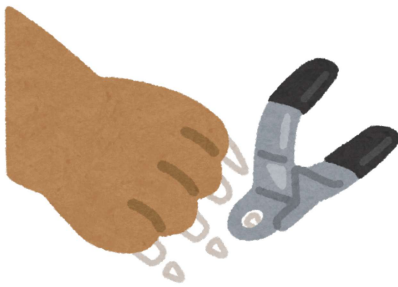
エリザベスカラー 1,540円～、エリザベスウェア 3,190円～

手術中の追加処置について

ワンちゃん、ネコちゃんが麻酔で寝ている最中に爪切り、耳掃除、肛門腺絞り、乳歯抜歯などを手術と同時に実施することができます。

～ 追加処置の費用（税込）～

- 爪切り	無料
- 肛門腺絞り	1,540円
- 耳掃除（点耳代込み）	2,420円
- 乳歯抜歯（1本あたり）	
犬歯（1，2本目）	3,850円
犬歯（3本目～）	1,925円
その他（1，2本目）	1,430円
その他（3本目～）	715円
- マイクロチップ	
埋め込み＋書類作成料	7,040円



手術後の注意事項について

○手術当日帰宅後

- ・麻酔の影響により嘔吐する可能性がありますのでご飯は与えないでください。
誤嚥性肺炎を起こす可能性があります。
- ・お水は様子を見ながら与えてください。（十分に補液してありますので脱水の心配はありません。）
- ・麻酔の影響により、沈鬱、ふらつき、嘔吐などの様々な症状が発現する可能性がありますので、
帰宅後は安静、安全に配慮してください。

○手術翌日

- ・朝からご飯をあげていただいて構いません。
- ・嘔吐があり、食欲がない場合は、病院にご相談ください。
- ・ご飯は少量ずつ試してみてください。ドライフードでも構いません。
- ・お散歩は排泄程度であれば問題はありません。
- ・夜から抗菌薬を飲ませてください。（3日間）



○手術翌々日以降

- ・体調がいつも通りであれば、食事やお散歩など通常通りで構いません。

下記のような場合、その他ご心配な点がございましたら、お問い合わせください。

- ☐ 食欲がなかったり嘔吐が続いている
- ☐ 薬が飲めない
- ☐ カラーサイズが合わない
- ☐ 腹帯が汚れてる、脱げてしまった
- ☐ 手術部位に関して
 - ・出血が続いている
 - ・糸が取れてしまっている
 - ・化膿している
 - ・傷口が膨らんでいる



抜糸について

ネコちゃんの去勢手術の場合は術後7日後以降、それ以外の手術であれば術後10日後以降に実施可能です。

手術・麻酔の合併症について

<手術の合併症>

- ☐ 出血：手術部位からの出血が続くことがあります。
- ☐ 手術部位の感染：手術部位を舐めたりすることで細菌感染を引き起こす場合があります。
- ☐ 癒合不全：手術部位の感染や基礎疾患がある場合は傷口が癒合しないことがあります。
- ☐ 漿液腫：手術部位の炎症反応によって液体が溜まってくることがあります。
- ☐ 臓器損傷：手術手技によって近くの臓器が傷ついてしまう場合があります。

など

<麻酔の合併症>

- ☐ 不整脈：心臓が一定の動きをしなくなることがあります。
- ☐ 急性心不全：心臓の機能が急激に低下する場合があります。
- ☐ 肺水腫：心臓の機能が低下することにより肺に液体が溜まってしまうことがあります。
- ☐ 腎不全：血圧が低下し、腎臓の機能が低下する場合があります。
- ☐ アナフィラキシーショック：
麻酔薬に対する全身性のアレルギー反応により、低血圧などが起こる場合があります。
- ☐ 悪性高熱：吸入麻酔薬により、筋肉硬直や高体温、不整脈などが起こる場合があります。
- ☐ 誤嚥性肺炎：麻酔薬の影響で嘔吐し、吐物が気道内に入った場合に起こることがあります。
- ☐ 喉頭浮腫：気管挿管の刺激による炎症反応により発生し、気道を閉塞する可能性があります。

短頭種（フレンチブルドックやパグなど）に起こりやすいです。

など

※麻酔の合併症が発生した場合、手術を中断する場合がございます。

※麻酔関連の死亡率は約0.05%～0.11%程度となっています。

緊急措置について

- ・当院では手術の安全には万全を期していますが、万が一上記のような緊急事態が起きた場合には、緊急連絡先にご連絡させていただくと同時に、心臓マッサージ・人工呼吸・投薬・輸血などの緊急措置を行います。
- ・心臓マッサージや人工呼吸などによる措置を行っても改善がない場合は、こちらで必要と判断した際に開胸手術による直接的な心臓マッサージを行う場合もございます。
- ・しかし、緊急措置を30分行っても改善がない場合は、その後の蘇生率が極めて低くなるため、30分以上の措置はこちらの判断で中止させて頂く場合がございますのでご了承下さい。
- ・同意書をご記入の際にこれらの緊急措置のご希望の有無をお伺いさせていただきます。